

English Essentials for Self-Learners

大学生活を英語サーフィン

—発信型英語学習への道—



川端 新

Susanne Balogh

編著

富山 晴仁 西畠 俊彦 阿部 曜子 向井 剛

英文校閲 Gavin Barling



English Essentials for Self-Learners

Copyright © 2020 by

Kawabata Sara

Susanne Balogh

Tomiya Haruhito

Nishijima Toshiko

Abe Yoko

Mukai Tsuyoshi

All Rights Reserved.

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the authors and KAIBUNSHA Publishing Co., Ltd.

音声ダウンロード(無料)

<http://www.kaibunsha.co.jp/download/20165>

音声は上記URLから無料でダウンロードできます。

(リリースは2020年4月)

- URLは検索ボックスではなくアドレスバー (URL表示枠)に入力してください。
 - スマートフォンなどの3G回線環境では、ダウンロードできない場合があります。 その場合には、Wi-Fiなどを使用してください。
-
-

はしがき

このテキストは、大学での全学共通カリキュラムのテキストとして使用されることを目的に作成されており、2つの特徴を持っています。まず、自立した英語学習者となるために英語の学習の仕方を身につけること、そして、大学生活という身近な話題を通して英語を学ぶことです。

自立した英語学習者

「英語をマスターするにはどのように勉強したらよいですか。」今まで多くの学生から、こう問われてきました。週1回の大学の授業では、いかに授業外で学習時間を確保していくかが大きなポイントとなります。しかしながら、いざ「英語を勉強しよう」と思ったときに、「何を」「どのように」したらよいのか、わからない学生が多くいます。

このテキストでは、学生が各々の学習目的に向かって自学学習をするのに必要なスキルを身につけること、つまり自立した学習者の育成を目的としています。多くの学生にとって、大学の全学共通カリキュラムでの必修英語は、小学校から始まった長い英語教育の「最後の必修」科目となります。今後、学習を続ける際は、自分の設定した目的に向かって学習をしていくことになります。あなたの目標は何ですか。英語を使って何ができるようになりたいですか。そしてそのために、何が必要になるのでしょうか。

みなさんが、このテキストを通して、「英語の勉強の仕方」を学び、自立した学習者となることを願っています。

大学生活を通して英語を学ぶ

「大学生活を英語サーフィン」というタイトルどおり、それぞれのユニットは、四国での大学生活における様々な事をテーマとしています。みなさんが興味を持って取り組めるように、大学の歴史やイベント、また大学生活ならではの長期休暇の過ごし方など、学生生活に密着した話題が含まれています。また、四国大学・短期大学公式マスコットキャラクター、「しこぽん」と「あいたん」も各章で登場しています。

最後に、本書の作成にあたり、開文社出版の丸小雅臣社長には、企画の段階より様々なご助言をいただきました。心より感謝申し上げます。また、企画をサポートしてくださった四国大学学長をはじめとする大学関係者の皆様、そして、イラスト担当してくださった高井奈穂氏、その他、このテキストに関わってくださったすべての方々に対しまして、この場を借りて、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

2020 年春 著者一同

しこぼんの妹

「あいたん」

(誕生日：7/24、趣味：藍染め)



「しこぼん」

(誕生日：11/4、性別？)



CONTENTS

Unit 1	大学案内：四国大学へようこそ 《動詞のパターン 1》	
	Welcome to Shikoku University	1
Unit 2	クラブ紹介：サークル活動がいのち！ 《文型その 1》	
	Club Activities	7
Unit 3	日常生活（LINE・コンビニ）：日本って便利 《文型その 2》	
	Convenient Culture	13
Unit 4	日本文化（ポップカルチャー）：カワイイがいっぱい 《時制》	
	Pop Culture	19
Unit 5	日本文化（伝統）：元号ってイイネ！ 《受動態》	
	Traditional Culture	25
Unit 6	長期休暇の過ごし方：無駄にしないで、長期休暇 《動詞のパターン 2》	
	Vacation Time	31
Unit 7	お遍路：四国巡礼の旅 1 《分詞の後置修飾》	
	A Spiritual Journey - Part 1	37
Unit 8	お遍路：四国巡礼の旅 2 《比較》	
	A Spiritual Journey - Part 2	43
Unit 9	学内イベント：学内行事を楽しもう 《不定詞》	
	University Events	49
Unit 10	卒業生：卒業生の活躍 《関係代名詞》	
	Future Dreams	55
Unit 11	ボランティア：誰かの役に立ちたい 《助動詞》	
	Volunteer Activities	61
Unit 12	徳島の観光名所：今度の休みはどこに行こう？ 《談話標識》	
	Sightseeing in Tokushima	67
Unit 13	伝統文化：藍染め 《前置詞》	
	Awa Indigo	73



裏表紙の写真

- かずら橋 上段左
- 阿波踊り 上段右
- 四国徳島の祖谷とかずら橋 中段左
- 桜と切幡寺 中段右
- 徳島の山々 下段左
- 大鳴門橋 中央下段
- 徳島の田園風景 下段右





Let's Go!

UNIT 1 Welcome to Shikoku University

四国大学へようこそ

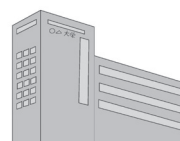


Warm-up

Ask your partner the following questions.

1. Do you know anything about the history of Shikoku University?
2. Have you had a campus tour? Did you have a chance to visit the library?

At the Library



Vocabulary Quiz: Match the words with the meanings below.

貸出期間 更新する 絵本 借りる 課題 返却日

librarian	(図書館員)	picture book	(1.)
assignment	(2.)	borrow	(3.)
loan period	(4.)	renew	(5.)

B

Listening: Amy, a first year student, is talking to the librarian. Listen to the conversation and decide if the statements below are true or false.



- | | |
|---|--------------|
| 1. The children's books are located on the third floor. | T / F |
| 2. Amy would like to borrow some picture books. | T / F |
| 3. The loan period is three weeks. | T / F |
| 4. The librarian will take Amy upstairs. | T / F |
| 5. Amy needs the books for 10 weeks. | T / F |

C

Your turn: Fill in the blank spaces below to complete the conversation.

A: Excuse me. I'm looking for some books on

1. _____.

B: Those books are on the 2. _____.

Would you like me to show you?

A: That's okay. I can find them by myself. Thank you for your help.



A Brief History of Shikoku University



Let's take a look at a brief history of Shikoku University. In the early twentieth century, a woman called Katsu lived in Tokushima. She had a dream: she wanted women to be self-reliant. In 1925, Katsu established the Tokushima School of Sewing, which was the beginning of Shikoku University. Although the school was closed during World War II, Katsu reopened the school four years after the war. Katsu established the junior college in 1961, and opened a four-year university called Shikoku Women's University in 1966. In 1992 the university adopted a co-educational structure and changed its name to Shikoku University. The university continues to develop and expand. Today Shikoku University has four faculties and a junior college. Education is carried out under the motto of 'Holistic Independence.'

(124 words)

self-reliant: 自立している establish: 創立する
 junior college: 短期大学 co-educational: 共学の faculty: 学部



Before Class: Read the passage above and answer the questions in Japanese.

1. Katsu (佐藤カツ) の夢はどのようなものでしたか。
2. 四国大学は当初どのような教育機関でしたか。
3. 12 行目 'Holistic Independence' の意味について、大学ホームページや『履修要綱』で確認しなさい。



In Class: 1. Before Class の答えをクラスメートと比べてみよう。
 2. 英文を参考に次の表を埋めてみよう。

1925 年	徳島洋服学校創立 創立者 (1.)
第二次世界大戦中	(2.)
1949 年	学校を再開
(3.) 年	短期大学開学 (のちの四国女子短期大学)
1966 年	四国女子大学 [(4.) 制] 開学
1992 年	(5.) に変更し、四国大学と名称変更



After Class: Translate these sentences into English.

You can use the underlined expressions in the passage.

1. 私は〇〇学部には所属しています。(自分の専攻に当てはめて答えましょう。)

I belong to _____.

2. 地図をご覧ください。この建物が大学の食堂です。

Please take a () () the (). This () is the () cafeteria.

3. 大学のそばには吉野川と呼ばれる大きな川があります。

There is a big () () the Yoshino River () the university.

Advanced!

4. この大学は引き続き国際交流プログラムの発展、拡大を図っています。

_____.

★ Tips for improving your English ★



オーバーラッピングに挑戦

オーバーラッピングとは、音読練習の1つで、テキストを見ながら、英語音声にぴったり合わせて音読をする方法です。

- ◆ 準備段階として、音読を始める前に、意味のわからない単語や文を確認し、内容がわかるようにしておきます。その後、音声聞きながら、黙読して、発音を確認しましょう。
- ◆ いよいよオーバーラッピング。発音はもちろん、イントネーションやスピードもぴったり合わせるように音読しましょう。最初は、意味を考えずに、音を合わせることに集中しましょう。
- ◆ 目標は完全にコピーできること。繰り返し練習するのみです。

オーバーラッピングができるようになったら、次はシャドーイング (Unit 3) です。

教えて しこぽん!!



動詞のパターン 1 :

want to do と want 人 / 物 to do の表現について

want to ... 「～したい」 はみんな知っているよね。

want と to ... の間に名詞(人や物)が来ることがあるんだよ。そうすると「名詞(人や物)に～してもらいたい」という意味になるんだ。

では、“I want you to come with me.” はどういう意味? 「あなたと一緒に来てもらいたい」だね。

他の動詞でも同じ形を取るものがあるから、よく使うものを覚えておこう。

- tell 名詞 to ... ([名詞] に～するように言う)
- ask 名詞 to ... ([名詞] に～するように頼む)
- allow 名詞 to ... ([名詞] が～するのを許す)
- enable 名詞 to ... ([名詞] が～できるようにする)

日本語で言ってみよう。

1. My father wanted to be a doctor.
2. My father wanted me to be a doctor.

英語で言ってみよう。

3. 先生は私たちに 12 科目 (subject) を履修する (take) ように言った。
4. 先生は授業中におしゃべりする (chat) ことを許さない。





Dictation: Listen to the conversation again and fill in the blanks.



Amy: Excuse me, could you tell me where the (1.) books are?

Librarian: Most of them are on the third floor. Are you looking for something in particular?

Amy: Well, actually, I'm looking for some picture books. They're for an (2.) I have to do for my class.

Librarian: Okay, we have a lot of different (3.) (4.) upstairs. Would you like me to show you?

Amy: That's okay; I can find them by myself. How many books can I borrow today?

Librarian: You can borrow up to (5.) books at a time.

Amy: And (6.) how many days can I borrow the books?

Librarian: The loan period is two weeks.

Amy: Two weeks? Oh, I think that will be long enough to finish my assignment.

Librarian: If you need more time, you can (7.) your books for another two weeks after the first (8.) (9.).

Amy: Oh, do you mean I can borrow the books for four weeks?

Librarian: Yes, that's right.

Amy: I see.
10. _____.